



おばなざわ

平成22年
4.15
第65号

市議会だより

平成22年度一般会計予算など26議案を可決

夢・勇気・感動をありがとう!



バンクーバー冬季パラリンピック
太田渉子選手の銀メダル
獲得凱旋パレード

新しく竣工された踊り屋台さくら号

2月臨時会	3月定例会	補正予算・議案の審議	2	ページ
		予算特別委員会	3	ページ
		一般質問	6	ページ
		可決された議案	9	ページ
		請願・議会メモ	11	ページ
		分科会委員長報告	5	ページ
		可決された意見書	8	ページ
		広域組合議会	10	ページ
		私のひとこと・人の動き・あとかき	12	ページ



平成22年度予算を可決

一般会計総額	97億9,200万円
特別会計予算	54億7,231万円
予算総額	152億6,431万円

補正予算の審議

道路土地購入費

質 道路新設改良費の土地購入費はこの土地を購入するものです。

小学校宮繕工事

質 上柳小学校の屋根の修繕について、上柳小学校は統合しないことに決定したのですか。また耐震化はどうするのですか。

答 上柳小学校は統合しないこ

平成22年3月定例会は、3月3日から17日までの15日間の会期で開催されました。初日の3日には、小野市長より平成22年度施政方針が示され、平成21年度一般会計補正予算（7千625万円増額）など6案件をはじめ、平成22年度一般会計予算、各特別会計予算など8案件、条例改正案および一般議案11案件など計25案件が上程され、提案理由の説明がなされ、そのうち、平成21年度一般会計補正予算など補正予算6案件が審議され、いずれも原案の通り可決されました。また、請願2件は常任委員会に付託し、審査を行いました。

3月5日、8日には5名の議員が一般質問を行い、市政全般について市長をはじめ市当局の考えを質しました。

平成22年度予算については、全議員で構成する予算特別委員会を設置して、慎重に審議を行いました。最終日の17日には、追加議案1件が上程され、審議の結果、本定例会に上程されたすべての議案は、いずれも原案の通り可決されました。

また、井上拓夫議長の逝去により、3月8日議長選挙を行い、鈴木忠副議長が新議長に選任され、副議長には鈴木敏正議員が選任されました。

なお、平成22年2月臨時会は2月10日に開催され、平成21年度一般会計補正予算など3案件が上程され、審議の結果いずれも原案の通り可決されました。

地域情報通信基盤整備事業

質 繰越明許費の地域情報通信基盤整備事業について本市のホームページでもプロポータル公募への参加募集をしていますか、そのねらいは何ですか。

答 提案の内容をよく精査して業者を決定するためです。

とになっていきます。建築は昭和57年なので、耐震基準はクリアしていません。屋根の塗装はそれ以降塗装してないので、きめ細やかな臨時交付金を活用して実施するものです。

質 公営住宅建設事業の減額の理由は何ですか。

答 荻袋の市営住宅建設工事が完了して精算によるものです。

公営住宅建設事業

文化体育館等の宮繕工事

質 文化体育施設宮繕工事、学習情報センターの宮繕工事の内容は何ですか。

答 文化体育施設アリーナのステージの上の吊り物のワイヤー等の交換と非常用発電の蓄電池交換です。また学習情報センターの非常用発電の蓄電池交換と高圧器の開閉器の更新です。

理科教育設備の整備

質 本市の理科教育は他市と比べて備品や設備が遅れているのではないですか。

答 本市の理科教育は十分で、自然体験も十分で、また理科の教育センターもあるので、子どもたちは恵まれていると思います。



人気の高い1戸建て住宅地（荻袋地内）



保育業務委託料

質 保育業務委託料の減額の理由は何ですか。

答 ひまわり保育園、こぼと保育園、大石田町の双葉保育園など私立保育園の委託料であり、当初予算の見込みより委託児童数が減少したことによるものです。

議案の審議

市道の認定

質 市道Ⅲ―329号線と市道Ⅲ―330号線はこれまで県道でしたが、市道認定の経過はどうなっていますか。

答 最上川のバック水位の関係で、道路改修の必要があります。新たに道路計画を行ったものです。平成23年度完成予定でしたが、県の計らいにより平成22年度完

成予定になり、すでに一部供用しているの、今後市道として認定し、市と県の体制づくりをしていこうとするものです。

2月臨時会

公共投資臨時交付金事業

質 光ケーブル、工事契約の内容、管理はどのようになりますか。

答 光ケーブルの所有は市で、管理は通信業者と契約をします。IRU契約で業者の了承がないと解約できません。

質 小学校ICT用備品購入費の内容は何ですか。

答 市内小学校に百台を超える子ども用パソコン、ウインドウズ7最新型を導入したい。

質 尾花沢小学校耐震化工事は市内業者でできるのですか。

答 市内A、Bランク、ジョイントベンチャーになります。

就任のしあがり

井上拓夫前議長の突然の死去により、3月定例会開会中の8日第25代議長に就任致しました。

改選期でない時期の就任であります。議会のスムーズな運営に全力をつくす覚悟であります。市民の皆様のご理解と御協力をお願い申し上げます。

今年、市長選挙、それに伴う市議会議員の補欠選挙を控えています。

議長 鈴木 忠

新市長、新市議会議員の誕生の年でもあり、市議会の役割もより重要な時期であります。

少子高齢化で人口減少も進みさらに就労の場も少なく全ての面で閉塞感が漂っています。市民の方々の福祉の向上のため市当局の職員の皆様、市議会議員の皆様の御協力をお願い致します。

予算特別委員会

予算特別委員会は、平成22年度一般会計予算をはじめ、予算議案8案件について、3月9日から2日間にわたり総括質疑を行い、さらに審査の慎重を期すため3つの分科会を設置し、10日、11日とそれぞれの分科会において詳細に審査を行いました。主な内容について報告します。

行財政について

質 平成22年度の普通交付税は2.3%、臨時財政対策債が40.1%増加するものの、景気低迷の影響により、市税が約7千800万円、4.8%の減少となる見込みですが、その対応策はいかがですか。

答 職員定数の適正化、事務事業の見直しなど、行財政改革の断行により経常経費の削減に一層取り組みとともに、少子高齢化対策と雇用対策を含む、産業振興施策に積極的に取り組んでいきます。

質 市税の減収と相反し、収入未済額が増えることが懸念されます。その対策はどうですか。

答 きめ細かな納税相談により、収納率が下がらないよう努め、また、固定資産税の収入未済額の増加についても、相続人の特定、共有地の解消など、早期の段階からの対策に万全を期する

よう努めます。

質 自主財源が24.9%の本市にとつて、市民の幸せのために、自主財源の確保が重要な課題となります。その対策はどうですか。

答 限られた予算を有効に活用し、誤りのない財政運営に努めるとともに、独自の地方税の創設も視野に入れながら、財源の確保に努力します。

雇用の確保と生活支援について

質 依然として全国的に景気の状態は厳しく、本市においても職を失い、仕事を求める方は多くいます。雇用の維持と新規採用をどう図りますか。

答 「雇用維持緊急事業費交付金」や「雇用確保対策事業費助成金」など、あらゆる制度を活用し、市民の要望に応えられるような雇用の受け皿を確保していきます。

質 地元商店街の活性化策として、プレミアム付き商品券が人気を得ています。新年度はどうしますか。

答 地元購買活性化事業補助金として、プレミアム付き商品券を発行し、活性化を図ります。





農林行政について

質 平成22年度から実施される米の戸別所得補償モデル対策で、新規需要米の中の飼料用米の作付けについて、JAとの話し合いがなされていますか。



今後市とのさらなる連携が望まれるJA

答 尾花沢市の場合、肥育牛が多いため畜産農家自体で概ね間に合っていて、JAとの協議は厳しい状況です。

また、WCS（ホールクロップサイレイジ）用稲の考え方については、農家・県・市において平成21年度から3ヶ年計画で実験中です。

質 米粉の消費及び販売状況はごとうですか。

答 米粉の販売のみでなく、JAみちのく村山農業協同組合米粉を利用した商品開発に取り組んでいて、現在商品化に向けて試作中です。

質 農作物に被害を与えている猿害に対する新年度の取り組みはごとうですか。

答 猿を捕獲し発信機を取り付け、群れごとの生息地域を調査し、さらに動向調査を進め、地域の方々、猟友会と連携してなお一層取り組んでいきます。

ふるさと応援基金について

質 ふるさと尾花沢応援基金が多くの方のご理解とご協力を得て、現在高1千664万178円となりました。その用途はどう考えていますか。

答 文化財の整備を目的に寄付されたものについては、社会教育課で使途委員会を設置し、松尾芭蕉の「真筆」について調査中であり、今後、委員会で協議して進めていきます。

質 花笠おどりの発祥の地、徳良湖畔に花笠おどりのモニユメントの建設はごとうですか。

答 寄付された方の意向に沿えるよう有効に活用し、新年度中に形あるものにして、さらにふるさと納税について、今後ともPR活動を推進していきます。

福祉行政について

質 車イスごと運ぶことができ「リフト車両運行事業」の委託について、利用料が他の事業者と比べ安すぎると、福祉有償運送協議会よりクレームが出ていますが、対応はごとうですか。

答 現在の利用料は、1km当たり40円と、他の事業者と比較すれば格安となっています。市民にとつて貴重な交通手段であり、なるべく負担をかけないようにしながらも、現在使用のリフト車両の更新時に、今後の利用料を含め検討していきます。



安い利用料で喜ばれるリフト車

質 新年度よりこれまでの児童手当に変わり、「ごども手当」が支給になります。その支給の時期と本市の受給対象者は何名で

すか。

答 児童手当の2月、3月分は6月に支給され、4月、5月分は子ども手当として6月に支給になります。また、子ども手当の受給対象者は、中学生まで拡大され、約2千340人となる見込みです。

質 女性特有のがん検診推進事業は、21年度より補助金が半減しましたが、この事業は恒久化すべきです。そして、子宮がんの有効なワクチン接種は、公費で助成すべきと思いますがごとうですか。

答 検診推進事業は、今後も継続するよう国・県に働きかけます。また、ワクチン接種の公費負担については、他の市町村の動向を注視しながら検討します。

質 参酌標準の規制が緩和され本市に特別養護老人ホームのベッド数80床が割り当てられました。（社）尾花沢福祉会に60床（社）慈敬会に20床となりましたが、待機者が多く待ち望んでいます。事業の進展はごとうですか。

答 特別養護老人ホームの待機者が現在150名以上おられる中で、80床の増床は市民にとつても大きな福祉充実策となるもので、喜ばしい限りです。市では4千万円の補助を予定しており、新年度中の完成を目指し、施設入

所福祉と在宅福祉の連携を充分に図りながら、事業を推進します。

広域消防について

質 広域消防の取り組みについては、7市7町広域化案に沿って、具体的な検討に入っているとのことですが、現状はどうですか。

答 上山から尾花沢までと、非常に範囲が広く、気候、風土等の差異があり、本市の地域特性に対応し、市民の安全・安心な体制を作るためには、尾花沢市と大石田町による現在の消防体制を基本として、広域化についてはさらに時間をかけて検討し柔軟な対応をしていきます。



市民の生命を守る消防署

予算特別委員会 分科会委員長報告

第1分科会(総務文教)

歳入では市税について景気の低迷が続く中、経営の不振や雇用状況の悪化により税収が前年比48%の大幅な減収が見込まれる。収入未済額が増えることも懸念されることから、収入率が下がらないように要望しました。

歳出では光ファイバーの接続に対応した光電話への切り替えなど、経費削減に努めることや、交際費における慶弔費のあり方について、近隣市町村の状況を見ながら、今後検討するように要望しました。

第6次総合振興計画策定にむけた総合企画審議会委員については、まちづくりに精通した大学の教授など様々な分野の方を選考し、将来を見据えた市民のための計画となるよう、強く要望したところです。

農業体験交流事業の短期事業に加え、若い力を地域おこしに役立てるとともに、定住にも繋がる計画の旨の説明を受け、賛成多数により、原案の通り可決すべきものと決定しました。

第2分科会(市民厚生)

路線バス運行費について、減少傾向であることなどから、今後も利用者に配慮した停留所の設置や路線の拡充等を検討し、利用率向上に向け検討を要望しました。小中学校統合に伴う児童生徒の交通対策として、既存路線バスによる送迎を予定している旨の説明がありました。子ども手当の支給と受給対象者数について質したところ、2月分と3月分の児童手当を6月に、4月以降は、子ども手当として6月に4月分と5月分を支給していくこととなる旨、また、子ども手当の受給対象者数については中学生まで対象が広がる旨の報告を受け、これを了承したところ。リフト車両運行の委託について、市民の負担するリフト車利用料が他の事業者と比べ割安で、更新時に今後利用料を含め検討すべきだが、市民に負担を与えないよう要望しました。人口透析患者負担金を月額5千円、往復距離30km以上で補助する旨の説明を受け原案どおり可決し決定しました。

現下の厳しい雇用情勢を踏まえ、地域の実情や創意工夫に基づき雇用対策に取り組んで雇用の受け皿を確保して頂くよう要望しました。耕蓄連携水田活用飼料実証事業負担金について質したところ、市内の稲作農家と畜産農家が連携して循環型農業を進めていきたい旨の説明があり、これを了承したところ。米粉の新商品開発を取り組み中の現在、試作中であることや、産業プロデューサーは設置しない旨の説明があり了承し、市営福原よつば住宅団地の完成に続き、今後も子育て世代対策を考慮した市営住宅建設に努めていただくよう要望したところです。地元購買活性化事業補助金としてプレミアム付きの商品券を発行し、商店街の活性化を図りたい旨の説明があり、これを了承したところ。保育園跡地の利用問題は市全体の懸案事項として捉え、各課と連携を図りながら事業を進めるよう要望しました。いずれも原案の通り可決すべきものと決定しました。

第3分科会(産業建設)

5



3月定例会

一般質問



菅野修一議員

地域農業を牽引する
農用地利用改善組合を
どう守り支援していくのか

質 農政の大転換により、農地
利用改善組合は団地加算等の廃
止で組合組織の存続を懸念する
声が高まっています。地域農業
をリードするこの組織を守り、
支援する施策は何ですか。

市長 尾花沢市農用地利用改善
団体活動支援事業費補助金によ
り、団体の活動支援として、一
団体2万円、さらに農用地の集
積加算として地区内の土地が地
区内の認定農業者に集積された
10a当り500円を団体に交付して
おります。生産性向上と労働力
の省力化のために農用地の集
約・団地化、栽培作物の調整等
地域農政の向上に役立ててい
たい。

質 企業の撤退で数少ない雇用
の場が失われつつある中で、本
市の雇用創出・創造事業はどの
ように取り組まれ、何名の雇用
が図られますか。また、新たな
雇用のよびよる新たなパッケージ
事業の企画はありますか。

市長 平成22年度緊急雇用対策
事業で現在41名の雇用を予定し
ています。産業振興戦略会議で
示されました街中の賑わいや交

流人口の拡大、周年農業の確立
や農産物のブランド化などを具
現化し、雇用に結び付けるため
各関係機関による「尾花沢市地
域雇用創造協議会」を設置しま
した。現在、国において「地域
雇用創造推進事業（新パツケー
ジ事業）」が打ち出されています。
協議会として事業構想を取りま
とめ申請中です。

質 旧タイエーの跡地利用では、
放課後児童クラブや子育て支援
センターの移設、高齢者や一般
の人のたまり場・しゃべり場と
しての工夫をしていただきたい。
それにプールの再開は、多面的
機能を果たす総合福祉の殿堂と
して位置付けてはどうですか。

市長 現在、事業所において、
店舗やプールの再開に向け準備
しています。2階の一部をお借
りし、子どもの遊び場や子育て
支援、高齢者及び市民の交流の
場など、ご提言を参考にしなが
ら望ましい活用策を検討してい
きます。



加藤克彦議員

新エネルギーの推進を図れ

質 農業インタウンシップの取
り組みと、新規就農者、担い手
の育成に支援策はありますか。

市長 農業短期体験プログラム
制度と、実践農業研修事業が用
意されています。1人当たり10
万円以内までの謝金を助成して
います。この実践農業研修事業
への上乗せ助成を行い、本市の
新規参入農業者を育成確保して
いきます。

質 新エネルギーの推進により、
小水力発電で流雪溝のポンプの
電力に利用してはどうですか。

市長 市内の流雪溝は冬期間の
み通水しているのが大部分であ
り、小水力発電の為に取水や水
量の管理も必要となりますので
設置の可能性を検討していきま
す。

質 公共施設管理・運営や公用
車運転業務、スクールバス運転
業務を全て民間に公募型で請負
させてはどうですか。

市長 学校統合される地区の児
童生徒の通学についても、下校
時やクラブ活動など路線バスの
時間が合わない場合の送迎は、
民間委託やタクシーの借り上げ

で対応する予定です。今後とも
さらに方法を検討し、経費の節
減を図っていきます。今後とも
いろいろな方法を検討しながら
経費の節減を図ります。

質 農業用ハウスにペレットス
トープの推進を図って補助を考
えてはどうですか。

市長 間伐材等を利用した木質
ペレットストーブやボイラーは、
燃やしても環境に優しい燃料と
してモデル的に導入するなど総
合的な普及に検討を始めていき
ます。

質 徳良湖温泉の営業戦略の見
直しイベント等の実施で成果
は。太陽光発電の導入目的は何
ですか。

市長 今年度1月末現在で、前
年対比で4千500人ほど増加して
おります。多くの市民に利用さ
れるよう努力していきます。太
陽発電とLED照明器具を公共
施設に新エネルギー導入のさき
がけとして、太陽光発電の効果
やLED照明器具の省エネ効果
等を検証していきます。



3月定例会

一般質問



加賀正和議員

将来にむけた市民・議会・行政の基本ルールづくりを

質 「自治体の憲法」と言われるまちづくり基本条例は、市民と行政と議会の役割と責任を明確にし、社会契約を表したものです。協同のまちづくりの新たな理念を明らかにし、将来にむけ市政を進めていく必要から条例制定に取り組む考えはないですか。

市長（企画課長）

基本条例の制定については、多くの市民の皆さんが、まちづくりに関わっていただける環境づくりや機運作りなどの取組みが大事であると思います。内部で今後の進め方について検討していきます。

質 23年度スタートの第6次総合振興計画の策定に関わる市民から10年の期間に計画の進み具合や成果の検証を実施するシステムを取り入れてはどうですか。

市長（企画課長）

第6次総合振興計画基本計画については、前期、後期5カ年毎の計画にしたいと考えています。社会情勢や市民ニーズの把握に努め、後期計画の策定に当たっては、審議会や委員による

評価と意見を集約しながら策定していきます。

質 市内の1級河川、2級河川の堤防・護岸の中で、災害復旧で改修されない所があります。順次改修する必要があるのではないですか。また、綱木川の上部の河川改修についてどう考えていますか。

市長（建設課長）

今国会の経済対策臨時交付金の一部を利用して河川・堤防の管理用道路の整備や支障木伐採として河床の浚渫などを行っており、今後も継続して事業化されるよう関係機関と連携を図っていきます。綱木川改修については、地権者のご理解が不可欠であり、それらを踏まえた上で改修の要望を進めていきます。



雪解けではんらんする綱木川



石塚ミツ子議員

仕事は地元業者優先に、そして広く発注を

質 仕事が減っている時特別なもの以外は地元業者に発注するべきでは。また、入札は金額だけの競争でなく総合評価方式とすべきと、思うがどうですか。「歩引き」をすべきでないと思うがどうですか。工事請負代金は迅速に行っていますか。公契約条例をつくる考えはないですか。「小規模事業登録制度」ができたがその実績はどうなりましたか。

市長 工事は市内へ発注することになっています。予定価格等の設定については、特に最低制限価格については、昨年4月に国土交通省から新たな指導があり、5月からそれに準拠しています。総合評価方式については、今後試行などについて検討したいと思えます。公契約条例は、国でも近年いろいろな策を講じており、状況を見ながら検討していきます。また、昨年5月から小規模修繕工事等希望者登録制度を創設し、市報等で周知を図った結果、現在29事業者が登録されています。

質 病院などへの支払いが困難

な人には国保法44条に基づき減額、免除してはどうですか。

市長 軽減分は、国保税で負担しなければならぬため、山形県内で実施している自治体はまだまだありません。

質 車社会、高齢化社会によって、交通機関や手段が減り、移動できない人のため、デマンドタイプの乗合タクシーを導入する考えはないですか。民間のタクシー会社と連携をはかっているかどうか。

市長 山形県地域公共交通活性化検討委員会を組織し、市町村バス及びデマンド型交通の調査検討が行われており、報告書にもとづいて検討しているところです。報告書では、尾花沢市は、地形上の問題や中心から各集落へ各線が別れて運行している状況から、デマンド型等については路線設定方法や導入経費からしても制約を受ける課題があるとされています。

また、学校の統廃合もあり路線バスで通学も検討していることから当面は路線バスで対応したいと考えています。



3月定例会

一般質問



菅根光雄議員

厳しい財政でも あったかい行政を

質 厳しい財政の中、新年度予算では経常収支比率、実質公債費比率をどれほど見込んでいますか。庁舎建設に向けての動きと、建設の時期はいつですか。

市長 実質公債費比率は、20・5%、経常収支比率は、94・4%と想定しています。実質公債費比率は、学校建設などによる起債の償還が増加しており、逆に新鶴子ダムに係る償還が年々減少します。新庁舎建設の建設時期については新鶴子ダムの負担金の償還が完了する時がひとつの目安と考えています。質 不況で働きたくとも働く職場がないという切実な叫びがあります。企業誘致に向け、他市町でやらない取組みが必要ではないですか。

市長 土地購入費においては40%の助成を行っており、県内では最低水準ですが、企業誘致にむけた検討をしていきます。質 定住対策として花笠ニュータウンの住宅地購入について新たな支援策の内容はどうですか。

市長 花笠ニュータウンの定住促進と早期分譲を図るため、平

成22年度は、現行、宅地購入価格の10%以内で100万円が限度の助成を、20%以内で200万円以内に拡充します。

質 本市の農業生産年齢人口の今後の推移をどう予測しているのか。担い手の確保対策は。「産業振興戦略室」の狙いは何ですか。

市長 本市の農林業センサスの統計では65歳未満の就業者は千567名で内40歳未満が269名となっています。担い手の確保対策としては、認定農業者採択要件の生産調整達成の除外について検討しなければならぬ事項であるとと考えています。質 県立村山特別支援学校に、放課後児童クラブを設置することを検討する時が来ているのではないですか。また、通学に対する支援も必要ではないですか。

市長 現在、生徒11名程度が、村山市社会福祉協議会の支援を受けています。今後3市1町で実施できないのか、検討していきます。市が送迎の支援をした場合は、県の通学補助が出なくなります。

可決された意見書

◎核兵器の廃絶と恒久平和を求めめる意見書

ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ヒバクシャ。

この訴えは、核兵器廃絶と恒久平和を願う私たち被爆国民の心からの叫びであります。

しかし、核兵器はいまだに世界に約2万数千発を存在し、核兵器の脅威から、今なお人類は開放されていません。2000年核拡散防止条約(NPT)再検討会議では、全面的な核兵器廃絶を約束したはずが、2005年の同会議では実質的合意ができず、核軍縮はもとより、核不拡散体制そのものが危機的状況に直面しています。

米国、ロシア、英国、フランス、中国の核保有国5ヶ国に加え、NPT未加盟のインド、パキスタンは核兵器を保有し、さらに事実上の保有国であるイスラエル、核兵器開発につながるウランを濃縮拡大するイラン、核実験を強行し、世界に脅威を及ぼしている北朝鮮の動向などは核不拡散体制を大きくゆるがしています。

よって国および政府においては、核兵器の廃絶と恒久平和実現のため、被爆65周年を迎える



広島原爆ドーム

2010年に開かれる核拡散防止条約(NPT)再検討会議に向けて、実効ある核兵器廃絶の合意がなされるべく、核軍縮・不拡散外交が強力に取り組まれることを要請します。

記

1. 国是である非核三原則を堅持するとともに、平和市長会が提唱する2020年までに核兵器廃絶を目指す「2020年ビジョン」を支持し、その実現に向けて取り組むこと。
2. 核拡散防止条約(NPT)の遵守及び加盟促進に全力で取り組むこと。

【以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。】



可決された議案

2月臨時会

- 議第1号 平成21年度尾花沢市一般会計補正予算(第10号)
- 議第2号 平成21年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算(第3号)
- 議第3号 尾花沢市過疎地域自立促進計画の一部変更について

3月定例会

- 議第4号 平成21年度尾花沢市一般会計補正予算(第11号)
- 議第5号 平成21年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)
- 議第6号 平成21年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算(第4号)
- 議第7号 平成21年度尾花沢市国営村山北部土地改良事業特別会計補正予算(第1号)
- 議第8号 平成21年度尾花沢市介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 議第9号 平成21年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第3号)
- 議第10号 平成22年度尾花沢市一般会計予算
- 議第11号 平成22年度尾花沢市国民健康保険特別会計予算
- 議第12号 平成22年度尾花沢市老人保健特別会計予算
- 議第13号 平成22年度尾花沢市簡易水道特別会計予算
- 議第14号 平成22年度尾花沢市国営村山北部土地改良事業特別会計予算
- 議第15号 平成22年度尾花沢市農業集落排水事業特別会計予算
- 議第16号 平成22年度尾花沢市介護保険特別会計予算
- 議第17号 平成22年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計予算
- 議第18号 尾花沢市職員の勤務時間、休暇などに関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第19号 尾花沢市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第20号 尾花沢市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第21号 尾花沢市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第22号 尾花沢市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第23号 尾花沢市医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第24号 尾花沢市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第25号 尾花沢市体育施設の指定管理者の指定について
- 議第26号 調停事項に係る一部債権の放棄について
- 議第27号 調停事項に係る一部債権の放棄について
- 議第28号 市道路線の認定及び廃止について

【議会案】

- 議会案第1号 核兵器廃絶と恒久平和を求める意見書の提出について



尾花沢市大石田町環境衛生事業組合

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会の3月定例会が平成22年3月19日組合議場において開催されました。一般質問は、2名の議員が行いました。

提出議案は平成21年度一般会計補正予算で、火葬場、塵芥処理施設及びし尿処理施設の修繕工事などです。また平成21年度公共下水道事業特別会計補正予算です。次に平成22年度一般会計予算は、歳入歳出総額7億7千537万円で、本市の分担金は5億706万円（実質負担額3億6千60万円）です。主な事業としては、ガス化溶融施設の維持管理補修工事やリサイクルプラザ二次破碎機修繕工事などです。

平成22年度公共下水道事業特別会計予算は、歳入歳出合計6億8千540万円で、本市の分担金は2億1千194万円（実質負担額6千852万円）です。投資的経費としては、公共下水道建設事業などです。また平成22年度水道事業会計予算は、建設改良費などです。その他職員の住居手当に関する条例の改正です。以上すべての議案は、いずれも原案

広域組合議会の報告

通り可決されました。



盛岡地区衛生組合施設内器機等状況説明 受入室内状況

北村山公立病院組合議会

平成22年北村山公立病院組合議会の第1回定例会が3月29日東根市議会場で開催されました。最初に尾花沢市・東根市でそれぞれ欠員1名づつの補充と議席の指定を行い、逝去された2名の議員のご冥福をお祈りし、黙とうを捧げてから審議に入りました。

病院職員の勤務時間、休暇などに関する条例の改正、3市1町の負担金の額について、22年度事業会計予算、人事案件2件

について上程され審議に入り、いずれも原案の通り可決されました。

条例の改正は時間外勤務を月60時間を超えた時は、その時間を時間外勤務代休時間とするものです。

3市1町の負担金について尾花沢市は全体負担1億3千940万2千円の23・03%で1千775万2千円です。

22年度事業会計予算は収入・支出ともに55億4千401万円で1日当たり入院312人、外来550人の計画です。

人事案件は病院組合委員に本市の鈴木忠議員が、病院事務長に東根市の寒河江賢一事務長が再任が提示され、全議案が原案の通り可決されました。



北村山広域行政事務組合

北村山広域行政事務組合議会3月定例会が3月23日村山市議会場において開催されました。

平成22年度一般会計予算、平成22年度組合経費の負担金など3議案が上程されました。

平成22年度一般会計予算は、1億1千939万円で対前年比14・8%減となりました。

また平成22年度組合経費の本市の負担金は2千572万円で3市1町総額の24・65%の負担割合となります。

議3号については、北村山広域行政事務組合職員団体のため職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例についてです。以上すべての議案は原案通り可決されました。



井上拓夫議長 逝去



去る3月5日、入院先の山形県中央病院で井上拓夫議長が逝去されました。
氏は昭和58年7月に尾花沢市議会議員に初当選以来、連続7期、27年余りに亘り、市議会議員として議会活動と議員活動に専念され、本市発展のため、多大なる貢献をされてきました。

この間、産業常任委員長、議会運営委員長（3期）、厚生常任委員長、総務委員長、産業建設常任委員長、消防委員、農業委員、北村山公立病院組合議員、尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議員、議会だより編集委員長等々数多くの要職を歴任し、昨年8月の中間改選をもって第24代尾花沢市議会議長に就任し、益々のご活躍を囑望される矢先の急逝に痛恨の極であります。

3月13日、井上家と尾花沢市議会の合同葬をサルナートアリーナにおいて、鈴木忠新議長が葬儀委員長のもと、故人の御功績を偲びながら、多くの参列者を招き、荘厳うちに葬儀が挙行されました。

心からご冥福をお祈り申し上げます。現職議長の死去はこれまでになく本葬儀に際しましては市、市民関係各位よりの多大なるいろいろなご協力を賜り衷心より厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

尾花沢市議会

請願の審査結果

採択された請願

- 平成22年請願第1号
- 市道Ⅲ-16号線上町地内流雪溝整備に関する請願
上町第一区長 土屋 啓三

平成22年請願第2号

- 核兵器の廃絶と恒久平和の意見書提出を求める請願
連合山形北西村山地域協議会議長 田川 健一

議会構成の異動

- 議長 鈴木 忠
- 副議長 鈴木 敏正
- 市民厚生常任委員長 笹原 光政
- 産業建設常任副委員長 小関 常良
- 議会運営委員会委員 菅野 修一
- 北村山公立病院組合議員 笹原 光政



議会メモ

議員年金について

地方議会議員年金制度は昭和36年に議員立法により制定された。制定の目的は「地方公共団体の議会の任務の重要性に鑑み、これを組織する議会及びその遺族の生活の安定の資とするため互助の精神にのっとり議員の退職、公務症病及び死亡について年金を給する制度」を設けた。需給資格を得るに必要な在職期間は12年である。

しかしながら市町村合併が平成18年に改正で見込んだ以上に大規模に進展したことに加え、行政改革に連動した議員定数・議員報酬の削減が積極的に行われたことにより、市町村議員共済会の年金財政が予想を上回って急速に悪化し年金等の給付に大きく支障が生じることに至った訳である。

平成23年には市町村議会議員共済会の係る受給者への年金給付が不能と見込まれる事態になることに鑑み、早急な対応をとらなければならぬ。地方議会議員年金を廃止することも一つの選択肢ではないかと考えられている。



私のひとこと



柴田 力雄さん (仲町)

◎感謝

尾花沢市政のためお仕事をしていただきます地区の区長さんと市議会議員の先生方に対し、日頃の活動ご苦労さまと感謝の念を表明させて頂きます。まず区長さんは、市の区長設置規則により市長が委嘱した職務であり、市の行政事務の周知徹底、市民の連絡調整、その他必要な意見を市長に具申する等の仕事をされ、その外に地区の行事や慶弔の付き合い、そして住民の困り事の相談に応じることなど多くの仕事をされています。大変な仕事量の割には報いが少ない様で気の毒です。

次に市議会議員のことですが、政治家は一期毎の選挙において激しい地獄の当落勝負があり、その都度議員の家族をも巻き込んだ苦労は並大抵のことではありません。幸い当選したとしても、市の議決機関の一員として条例や予算を定めたり、市民の

意志を市政に反映させるための審議の仕事が待っています。そして年四回の定例会議と臨時会議に出席しなければなりません。また、本会議で決められる内容を専門的効率的に審査するため委員会の活動があります。その外陳情や出張調査の仕事もあります。さらに議会外の仕事では支持者への冠婚葬祭、各種イベント・町内会行事への参加等の付き合いが待っています。議員の仕事の多さに同情します。しかし、区長さん議員さん、市民のためどうか頑張ってください。

先日、英国人女性ベニシアさんが京都大原の里山に田舎暮らしの楽しみを見つけ、そこに移り住みハーブや野菜栽培の生活を同じ地元の人々と暖かい交流をされていることをテレビで拝見しました。現在古民家を修復して田舎暮らしをしておられる都会人が増えています。一昨年榊ナサの社長押切信夫さんが東京の開発業者を連れて福祉施設関係の用地探しに来尾された折、押切集落の赤井川流域の里山を眺め、その風光美に絶句したとの由です。私達の郷土が都会人にとっては美しい山河として感じられるようです。

今有名な観光地は環境が許容し得る量をはるかに超える観光客が殺到し、どの様にして客を

減らすかといったことが問題になっていくほどです。

そこで登場するのが尾花沢です。奥羽山脈の船形山火山群の主峰御所山と、水清冽な丹生川そして徳良湖に囲まれた尾花沢盆地があります。今こそエコツーリズムの自然に優しい観光を提供し、里山の癒しの中で過ごす喜びを感じてもらえればと思います。今国道37号も拡幅され、宮城県側との動脈ができてあります。市議会議員の叡智を結集し、夢の実現に向かってご努力を期待します。

人のひとこと

表彰

尾花沢市表彰規定に基づき表彰されました。

◎8年勤続表彰

星川 剛 議員

環境衛生事業組合表彰規定に基づき表彰されました。

◎8年勤続表彰

鈴木 敏正 議員

菅原議員が辞職

去る3月31日付で菅原信博議員が一身上の都合により、議員辞職されました。10年の永きに亘る議会活動、ご苦労様でした。

議会事務局人事

◎議会事務局長補佐

問宮 建一(転出)

池田 正彦(転入)

◎議会事務局主任

鈴木 真紀(転出)

高橋 里美(転入)

あしがき

万物が躍動する春を迎え、今農作業の最初の仕事として、種籾の塩水選の時期になり、大変忙しくなりました。

平成22年度から、農政も大きく変わり農家の皆さんともまどう点もあることと思いますが、今年度のスタートです。秋には良い作柄であることを期待するものです。

議会だよりも市民と議会を結ぶ広報であります。できるだけ詳しく、親しまれる紙面づくりをめざしていきます。今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。(須貝)

市議会だより編集委員

◎菅野 修一 ○笹原 光政

須貝 孝 鈴木 敏正

奥山 格 加賀 正和

加藤 克彦

◎委員長 ○副委員長